

## 第3号

W A K A

G I

若

樹

校訓：伸びていく 教育目標：自立力・社会力



杉並区立東田中学校



東京都杉並区成田東 3-19-17

電話：03-3313-1461 FAX：03-3313-4704

## 1学期を振り返って～当たり前の日常に感謝～

校長 坂本 聖二

もうすぐ1学期が終わろうとしています。コロナ禍の中で様々な対応に追われてきた1学期でしたが、大きな事故等もなく無事に終えることができそうです。1学期中の保護者の皆様や地域の方々のご協力とご理解に対して深く感謝申し上げます。

東田中学校での1学期の大きな行事といえば、なんといっても5月29日（土）に行われた運動会です。緊急事態宣言下ということもあり、無観客で午前中のみという形で実施しましたが、競技に臨む生徒たちは皆真剣で係生徒の動きも大変スムーズでした。「東田の呼吸」という運動会スローガンのとおり、全校生徒が呼吸を合わせて一つになって運動会という大きな行事を作り上げました。この経験は生徒たちにとってとても良い思い出になったのではないかと思います。

さて、7月23日（金）から東京オリンピック・パラリンピックが始まります。世界的な新型コロナウィルス感染拡大の中、開催について賛否両論ありましたが、「無観客」という異例の形での実施となりました。本来であれば、世界中から集まったトップアスリートたちが、多くの観客の声援を受けて全力で競技に臨む場であったはずです。かつてはそれが当たり前でした。

しかし、コロナ禍という特殊な状況においては、かつての当たり前が当たり前ではなくなってきているのが現状です。私たちの生活や学校の教育環境も大きく変化してきました。年間を通してのマスク着用、こまめな手洗い手指消毒、会話のない給食、一人1台のGIGAタブレット配布、集会や会議のオンライン開催など2年前には考えられなかつたことが次々と日常に入り込んできました。他にもいろいろとありますが、

このような生活や環境がコロナ禍における「当たり前の日常」として定着してきました。また、この中のいくつかはこれからの時代の新しい当たり前になっていくと思われます。

人々にとって「当たり前の日常」とは何でしょうか。「当たり前の日常」は人によって多少違うと思いますが、「当たり前の日常」が奪われてしまう状況を考えてみると、災害、事故、事件などが考えられます。かつて東日本大震災により多くの方々の「当たり前の日常」が奪われました。つい最近では熱海における土砂災害などもありました。今回の新型コロナウィルス感染拡大も自然災害の一つであり、人々の「当たり前の日常」を奪いました。しかしそれと同時に、新たな「当たり前」も生まれてきました。

そのような意味では、東田中学校が1学期を大きな事故もなく終えることができるということは、「当たり前の日常」が保たれてきたということが言えるのではないでしょうか。人はとかく当たり前の日常が続くと、「当たり前の日常は自然とやってくるものだ。」と思いがちです。しかし、「当たり前の日常」は何もせずに自然とやってくるものではありません。皆が当たり前の日常を送れるように、様々なところで多くの人々が努力し、支えてくれていることを忘れてはいけませ。直接的、間接的に多くの人々が関わって社会全体の「当たり前の日常」を支えています。

1学期間東田中学校の「当たり前の日常」を支えていただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。2学期からもまだまだ予断を許さない状況が続きますが、今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

## 地域懇談会

### 令和3年度「ひがした中地域懇談会」

地域の一員として、東田中生徒として、地域の未来を考えよう！

◇目的Ⅰ 自立力として「コミュニケーション力の向上」

◇目的Ⅱ 社会力として「地域に対する関心・参加意欲向上」

今年のテーマ「地域から愛される東田中学校にするために」

○あいさつの大きさをふまえて「あいさつを活性化させるにはどうしたら良いか」

○東田中を地域にアピールするための取組はなにができるか

○地域の方々が関わってくれていることをふまえて「自分達はどのように関わっていけば良いか

今年度も地域の方々と直接話し合うことはできませんでしたが、地域の方々には事前にテーマについての思いやお考えをアンケートでご協力いただきました。当日は地域の方のご意見を基に、話し合いの3つのポイントに沿ってグループの話し合いが活発に行われました。3学年合同のグループでの話し合いは行えませんでしたが、一年生のグループには司会進行として3年

生が一人ずつ入りお手伝いしたので1年生もスムーズに活発な話し合いができました。



## 理科出前授業 2年

済美教育センターの先生による出前授業

【金属を取り出せるだろうか】を実施しました。

①クジャク石の製錬：・クジャク石と炭素を混ぜ合わせ加熱し銅を生成する実験と②酸化鉄（Ⅲ）とアルミニウムの反応（テルミット反応）：・金属の酸化物である酸化鉄（Ⅲ）をアルミニウムと反応させ鉄を生成する実験を行い、化学変化では原子の組み合わせが変

化すること、またこの反応が化学変化（還元）であることなどを学びました。



## オリパラ教育

7月12日土曜  
授業で全学年オリパラ教育として「視覚障がい体験」授業を行いました。



アイマスクをして簡単な動作の体験ですがサポートする大変さも体験できました。

前は「あっち」？

蹴る動作はできても・・

## 定期考查Ⅰ

1年生にとって初めて、3年生にとっては進路決定に向けてどちらも緊張の定期考查Ⅰでした。



## 中学生レスキュー隊

3年度杉並区中学生レスキュー隊の発足式と第1回訓練が7月4日(日)に行われました。1年セヴェリーニさん、大信田さん、高島さん、佐藤さん、大嶋さん、3年小野田さん、尾畠さん、山縣さん、二ノ宮さんの9名が今年度のレスキュー隊に参加しています。

## すぎなみ小中未来サミット



7月9日(金)生徒会は杉二小、東田小の代表児童とオンラインで「未来サミット」の話し合いを行いました。

杉並小中未来サミットは、児童生徒が地域を含めた課題に自主的に取り組むことを通して地域の一員としてともに支え合う意識を持つことを目的として行われています。



今年は「地域懇談会の話し合い」のまとめを事前に小学校に伝え、当日の話し合いを持ちました。

「地域から愛される学校にするためにどうしたら良いか」小学生からも多くの意見や具体的な取組が上げられていました。

## 夏休み中のタブレット端末の利用について

7月10日に1学年のタブレット端末貸し出しを行い、東田中学校全校生徒への貸し出しが完了しました。今後タブレット端末の活用について検討を進めています。ご家庭でも利用目的と利用方法、ルールについてご理解をいただき、活用と管理にご協力をお願いします。

夏休み中の自主学習への利用のため、教科書に対応した学習ソフト「デキタス」等の利用について生徒へ紹介しています。詳しくは保護者様あて「タブレット端末の夏休み中の利用について」を配布しましたのでご確認下さい。

## 杉並保健所から「新型コロナウィルスワクチンの接種について」

先週保健所から届いたワクチン接種についてのお知らせを配布しています。また、東田中学校HPにも掲載しました。

## 学校運営協議会

今年度は第1回4月24日、第2回6月12日、第3回7月10日に開催しました。

第4回は8月26日15時30分に予定しています。学校運営協議会は公開していますので参観可能です。参加希望があれば事前に学校（副校长）までご連絡下さい。